

会 議 録

(文責：森山)

会議の 名称	第 5 回 那珂川市都市計画マスタープラン策定委員会		
開催日時	令和 2 年 12 月 8 日 (火) 19:00~20:30	開催場所	那珂川市中央公民館 講堂
出席者	<p>1. 委員            第 1 号委員：中村委員            第 2 号委員：谷川委員、大橋委員、小川委員、工藤委員、比嘉委員、築地委員            第 3 号委員：田上委員、成田委員、三谷委員、阿河委員、木藤委員            第 4 号委員：木村委員            ※欠 席：松村委員 (第 1 号委員)、結城委員 (第 3 号委員)、上野委員 (第 4 号委員)</p> <p>2. 事務局            桐谷都市計画課長、岩橋土地活用・計画担当係長、森山</p> <p>3. その他            (株) 玉野総合コンサルタント 2 名</p>		
配布資料	<p>次第            資料 1 都市計画マスタープラン (案)            資料 2 全体構想 (案) の概要            資料 3 都市計画マスタープラン策定の経緯</p>		
公開区分	開示 ・ 一部開示 ・ 非開示		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 開会            事 務 局：第 5 回那珂川市都市計画マスタープラン策定委員会を開会する。</p> <p>2. 議事            &lt;事務局より、資料 1 (P1~P37) について説明&gt;            委 員：P23 の道路・交通体系の整備方針について、春日市や大野城市のコミュニティバスと接続するような路線が充実すれば利便性が向上すると思う。渋滞の解消のためにも、公共交通の利便性向上が必要である。</p> <p>事 務 局：交通渋滞の解消という観点からも公共交通の利用促進、利便性向上に努めていきたい。近隣市の公共交通との広域連携について、どの自治体も同じような課題を抱えていると思うので、利便性向上に向けて手法を調査研究していきたい。マスタープランにも反映できるよう、文案を検討する。</p> <p>委 員：P23 について、山田交差点から博多南駅へ向かう道路のうち、松木交差点やハローデイ付近の交通渋滞が著しい。道路・交通体系の整備方針に記載してはどうか。</p>			

事務局：各区へのヒアリングでも、松木交差点付近の交通量が多いというご意見や周辺の生活道路で通過交通が多く危険というご意見があった。ご意見を受けて、生活道路については安全性を確保するための整備を検討すると記載している。幹線道路の交通渋滞については、どのような対応ができるか確認できていないので、マスタープランに反映するかどうかも含めて持ち帰って検討させていただきたい。

委員：P17 の新市街地整備検討地区について、市街化区域編入を目指すという理解でよいか？

事務局：市街化区域編入を目標として、手法を検討していく予定。

委員：用途地域等は決まっているのか。

事務局：用途地域等は決まっていない。新市街地創出の第一の目的は可住地の創出なので住宅地がメインになると考えられるが、詳細は今後検討する部分である。

会長：段階的に検討を進めていくということで、最終的な目標は市街化区域編入ということである。

委員：P28 のコラムの写真について、冬に撮影されたと思われるが、寂しい感じなので他のものに差し替えては。

P32 の質を高めるポイントについて、「景観の保全・形成と観光スポットとしての活用」とあるが、大規模なハード整備により歴史資源の景観がかえって損なわれてしまう事例がよくあるので、現在ある風景を大切にしつつ整備をするという視点を入れてはどうか。例えば、「教育普及」や「利活用と連携した施設整備」など。また、環境に配慮したまちづくりについても何か書けるのでは。

事務局：「景観の保全・形成と観光スポットとしての活用」について、特に安徳地域の文化・歴史ゾーンについては、周辺の田園景観も資源ととらえ、調和するような施設整備を検討すると文化財担当課より聞いているので、現在の景観を大切にしつつ歴史資源を利活用するという視点で内容を考えたい。

委員：P18 について、低層住宅地の「道路幅員が狭い箇所は（以下略）」という文言が削除されているが、理由を教えてください。

事務局：P24 の 3-3 生活道路の整備方針に記載したので、P18 については削除した。また、特に道路幅員の狭さが課題になっている地域については、地域別構想にも記載をした。

委員：P32 について、安徳台や安徳大塚古墳周辺の景観保全についての記載があるが、ミリカローデン那珂川や隣接する病院から、遺跡や農地の風景が遮るもの

なく見えるのは大変良いことだと思う。たまたま高い建物が建たなかったということかもしれないが、よい景観があるので今後も守っていききたいということを書いてはどうか。

委員：商工会で岩門城跡の展望台を整備して、遠景のよい観光地になった。そういうのも含めて、長期的にどういう景観を作っていくか考えないといけないと思う。特に企業の立地を促進し、雇用創出をしないと那珂川市の財政はよくなるしない。長期的な目標を持つ必要があると思う。

事務局：市街地と自然が近くにあるということは、多くの人が認識している本市の魅力である。マスタープランの中でも、市街地を創出しつつ自然を守る、活用するという方を方針として掲げていきたい。

本市の大きな課題として、人口を増やすことができるポテンシャルがあるのに可住地が不足していることが挙げられる。その課題を解決するため、新市街地の創出が必要であると考えている。

マスタープランは都市計画の全体的な方針や市街地開発等の事業を行っていくエリアを示すものである。マスタープランの内容は一つの事業で達成されるものではなく、様々な施策を工夫して達成できるものだと考えているので、実現のためにどのような施策が必要か、策定後も関係各課と連携して検討していきたい。

会長：重要な指摘だと思う。P32に「景観計画の策定や景観条例の制定」という記載があるが、計画や条例で景観重点地区や自然保護ゾーンに指定することも考えられる。企業の立地についても、新市街地の創出によってある程度達成されると期待している。

続いて、地域別構想について事務局から説明を。

<事務局より、資料1（P38～P58）について説明>

委員：P43について、「空き家・空き地の利活用による移住・定住の促進や企業誘致」とあるが、「企業誘致」の対象エリアは？

事務局：企業誘致については全市的に取り組みたいと考えており、奨励制度等は市内全域を対象にしている。特に南畑地域については空き家・空き地を活用した地域活性化に取り組んでいるので、空き家・空き地の活用という観点から企業活動を促進したいと考えている。

委員：単に企業誘致というと大規模な工場を誘致するようなイメージがあるので、そのような意図がないなら文言を工夫したほうがよいと思う。例えば「地域の風土にあった雇用の場の創出」など。

委員：P57について、「JR博多南駅周辺は、安全な歩行空間となるよう、改善

を検討する」とあるが、周辺の交通渋滞の解消についても取り組むべきではないか。せっかく JR 博多南線の利用者が多く、交通結節点であるのに渋滞によって利便性が損なわれている。将来の発展を考えても取り組むべき課題であると思う。

事務局：直近でどのような対応が可能か、また長期的にどのような方針を持つべきかも一度検討する。

委員：P57 に「裂田溝、安徳台遺跡や安徳大塚古墳などが位置する文化・歴史ゾーン」とあるが、P58 の図には遺跡の具体名が入っていないので記載してはどうか。

事務局：図の「歴史公園」と書いてある部分に追記する。

委員：P49 について、「集落維持検討区域」が何か所か示されているが、冠が丘団地も入れたほうがよいのでは。

事務局：冠が丘団地については、地元区から要望がなかったので検討区域として示していない。

委員：冠が丘団地は住宅としてもともと分譲されたので、市街化調整区域であっても住宅地として維持していくべきだと思う。

事務局：現地の状況を確認して検討する。

委員：P41 について、「通学路に指定されているにもかかわらず歩道がなく危険な箇所がある」とあるが、市ノ瀬の歩道整備については工事が進んでいるので記載内容は検討したほうがよい。

委員：P49 について、新市街地整備検討地区が那珂川沿いにあるが、地形的には防災上危険であると思う。河道が蛇行していて、西側の山が過去に川を押し出したと思われる。

事務局：国道 385 号沿いの新市街地整備検討地区について、土砂災害のレッドゾーンを始め災害の危険性がある区域が含まれている。国道沿いのレッドゾーンについては、緊急時の輸送を阻害する恐れがあることから安全対策を検討する必要がある。そのような災害対策工事と併せて可住地の創出を行っていきたいと考えている。昨今、国の制度でも災害の危険性を排除しつつ住宅地を確保するような手法が開発されているので、活用を検討したい。

委員：P57 について、「歴史、自然を感じられる魅力的な空間の創出」とあるが、創出という表現だとハード整備しかイメージできないので、「歴史を感じられ

る景観の維持・保全」や「教育普及に資するソフト施策」などの記載にしてはどうか。また、他のページで「那珂川らしい景観」という表現があったが、何を指しているかわかりづらいので表現を検討したほうがよい。  
また、図に色が多く見づらいので表示内容を工夫してほしい。

会 長：各区からの意見内容について、委員への配布はしないのか。

事 務 局：資料が大量になるため今回は配布していないが、各区から貴重なご意見を多くいただいたので、確認されたい場合は事務局までお声掛けいただきたい。

委 員：安徳台や安徳大塚古墳についての記載はあるが、現人神社については記載がない。何か整備の予定はないのか。

委 員：現人橋乙金線は、神社に面するような形で整備されるのか。

事 務 局：神社に直接面するわけではないが、隣接する公民館に面する形で整備されると聞いている。

マスタープランへの反映については検討する。

## 2. その他（今後の予定について）

- ・12/21～1/22 にパブリックコメントを実施する予定。本日の委員会の内容を反映した資料を使用する。
- ・次回委員会は2月上旬開催予定。パブリックコメントで意見がなかった場合は開催しないことも考えている。また、開催する場合も新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、開催方法については柔軟に対応したいと考えているので、ご協力願いたい。

## 4. 閉会

事 務 局：第5回那珂川市都市計画マスタープラン策定委員会を閉会する。

（終了）